

札幌市消防ヘリコプター運航記念式を開催！

札幌市消防局

平成29年4月21日（金）、消防ヘリコプターの更新に伴って運航記念式を開催しました。式典では、秋元市長や大島消防局長、来賓によるテープカットが行われたほか、新しいヘリコプターによる訓練も行われました。

新しいヘリコプター（レオナルド式AW139型）は、従来の機体と比べて航続距離や航続時間などの性能が大幅に向上します。秋元市長は、「市内での災害対応能力の向上はもとより、北海道内外の各自治体との広域応援体制の更なる連携強化にも繋がる」と式辞を述べました。



東北支部消防職員意見発表会にて入賞

郡山地方広域消防組合

平成29年4月26日（水）、新潟市にて「第40回全国消防長会東北支部消防職員意見発表会」が開催され、東北各県などの代表職員の中から当組合の武藤恭平消防士が入賞しました。

武藤消防士は、2月に行われた福島県大会で最優秀賞を受賞し、福島県代表としてこの大会に出場。「いざという時のシンボルマーク」と題し、立入検査での経験から、事業所での素早い災害対応や防火・防災意識の向上のためのピクトグラムの利用を提案しました。

今回の経験を業務に生かし、これからも住民の皆さんの安全・安心のために活動していきます。



意見発表する武藤恭平消防士

消防通信 望楼 ぼうろう

楽しく防災を学ぶレスキューチャレンジレース

小松市消防本部

小松市消防本部では、子どもたちへの防災教育の一環として、運動会の障害物競技に防災の要素を取り入れた「レスキューチャレンジレース」を市内の小学校で実施しています。内容は消防職員が考案し、消火器・ネットくぐり・土嚢運びなどにチャレンジするというもので、レースを通して災害時の心得や道具の使い方を楽しく学ぶことができます。

消防本部と小学校が連携し、準備・開催をすることで、防災意識の向上、地域のつながりも期待できます。

開催した学校では、児童や保護者からも好評でした。これからも市内全校に普及させていきたいと考えております。



高齢者擬似体験研修を実施しました

湖南広域消防局

平成29年3月16日（木）、3月21日（火）に高齢者擬似体験研修を実施しました。

この研修については、高齢者の身体状況を擬似体験することによって、老化及びこれに伴う心理的な影響を知り、高齢者に対する接遇能力の向上を図ることを目的として平成26年度から実施しており、今回で3回目の開催となります。

研修では、重り、耳栓及び白内障用ゴーグル等の器具を装着し、高齢者の視点に立ち、文字の読み書きや階段の昇降等を体験しました。

高齢者の身体状況を擬似体験することにより、今まで以上に高齢者に対する環境改善や接遇態度に気付く部分があり、今後の日常業務及び災害活動に活かす有意義な内容となりました。



擬似体験

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】